

圏外のアンテナ

[耳からうどん]の巻

一昨年くらいだったか。電車の中で、耳に「数cmの長さにぶつ切りにした、うどんの切れ端のようなもの」を突っ込んでいる人を、見掛けるようになったのは。

むろん、本物のうどんではない。アップルが開発したコードなしイヤホン「エアポッド」のことである。

若い人の間では、カッコイイと思われていたかもしれない。でも、いくら神妙な顔で音楽を聞いていても、耳からうどんの先がニョキッと出ている姿は、あまりにもコミカルで、わたしはいつも、心の中でせせら笑っていた。

ところが、先日、仕事の打ち上げのビンゴ大会で、何とその「うどん」が当たってしまった。ヤバっ。

ひとまず持ち帰って、充電はした。だが、耳に突っ込んで外に出る勇気なんて、あるわけもない。

と、そんなある日のこと、知り合いが朝6時半からのラジオに出演するという。ライブで聞いたかったので、やむなく耳にうどんを入れて、朝ランに出発。

だが、走り始めたら、想像以上にいい感じ！コードがないので腕を振っても邪魔にならず、耳の一部のよう。まさに、目からウロコ、耳からうどん。

周りから若く見えるかもと思うと、気分もあがる。

しかし、帰宅後いつものように、ランニングアプリを確認していると、地図に表示されている走行ルートに、全く記憶がない。「え、こんな道、走ったっけ？」

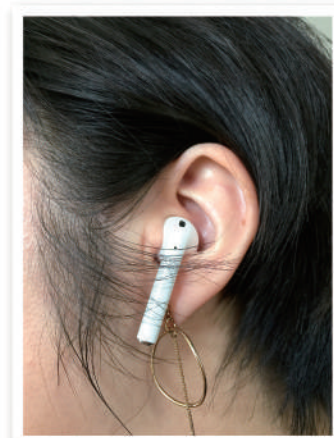
その上、いつも挨拶する太極拳（けん）おじさんや、柴犬ハナちゃんの飼い主と、すれ違った記憶も、一切ない。なんだこれ。幽体離脱か？記憶喪失か？

どうやら、快適なイヤホンが一種のバリアになって、周りがまるで見えなくなっていた模様である。

とはいえ、20代のような、晴れやかな気分で走れたことも事実。

こうして、また一人、この地上に、うどん星人が誕生したのである。

=2019年6月14日掲載=



最近、電車の中でも見慣れてきたエアポッド